

		令和4年度		令和5年度												令和6年度	
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	
会議日程	部会開催日	3月22日 全体会	4月20日	5月7日 ワークショップ	5月11日	6月8日	7月13日	8月10日	9月14日 9/17 講演会	10月12日	11月9日 11/19 講演会	12月14日	1月11日	2月8日	3月14日	4月17日	5月9日
	運営協議会開催日																
1. センターイメージチェンジ事業		企画概要検討															
ウィッシュユリ-制作		募集開始	ワークショップ準備	5月7日	制作物の展示			制作物の撤去									
月替わりパネル展示		展示団体募集	抽選・連絡	6月展示	7月展示	8月展示	9月展示	10月展示	11月展示	次年度公募企画検討	募集要項確定	出展団体募集開始	出展団体選定	展示決定団体通知	5月展示	パネル展示に合わせてできる所から実施	
スペース活用プロジェクト												スペース活用アイデア出し	準備	パネル展示に合わせてできる所から実施			
参加体験型ワークショップ												企画提案	内容検討	担当していただける企業・団体との合わせ			
2. 市民交流参加事業																	
市民団体				企画概要検討	企画紹介	8/1 担当団体公募	担当団体決定・広報原稿作成	10/1 公募開始		市民公募講演会	次年度公募企画検討						
企業				日程・内容検討													
学術				企画の概要決定	広報原稿作成			8/15 募集開始	講演準備	9月17日	次年度公募企画検討						
はじめの一步												企画提案		内容検討・次期部会引継資料作成			
【今回の検討課題】		<p><b>1 議題</b></p> <p>議題1 現在進行中の事業の進捗状況について</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 市民活動パネル展示8月追加分参加団体募集状況確認(小山)</p> <p>議題2 今後の事業の準備スケジュールについて</p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 4月1日以降のサポートセンター利用状況について報告(サポートセンター職員)</p> <p>2. 市民交流参加事業 2-1 夏休み親子ワークショップ企画について シモジマとの準備状況報告(市民協働課)</p> <p>2-2 市民活動はじめの一步ワークショップ(南山委員) 市民活動フェア準備状況報告(谷合)を受け、はじめの一步ワークショップの第1階に相当する企画について検討する。</p> <p>以上</p>															
【前回の検討結果】		<p><b>1 報告</b></p> <p>1. センターイメージチェンジ事業 配布された市民活動パネル展示参加団体一覧に基づき、活動パネル展示の申し込み状況を確認し、すべての月について、第一希望の団体の出展を決定した。8月については、追加募集を行うこととなった。8月分の追加出展団体には6月中旬に決定報告を送りたいので、今回の出展団体報告に合わせて、追加募集開始の連絡を発信することとなった。(5月末には締め切り) 企業出展についても、7月以降の出展企業を随時受け付けることを案内することとなった。</p> <p>2 今後の事業の準備スケジュールについて</p> <p>2-1 広がったサポートセンターの活用について 市民活動サポートセンター見取り図とFACE5階フロア見取り図と先月の議事メモをもとに、このスペースの活用方法について、検討した。新レイアウトは4月1日からの運用を目指す。</p> <p>2-2 市民交流参加事業 2-2-1 夏休み親子ワークショップ企画について 未来アートワークショップ企画書をベースに夏休みに実施することを想定したワークショップの概要について、シモジマの担当者と協議するベースを作成することを想定して議論した。次年度の企画にはこれまで以上に市民活動につながる要素が必要ということになり、そうした要素をこのワークショップ企画にどのように盛り込むかを中心に対象別に3つの案を検討した。</p> <p>開催日 令和5年 8月中 開催時間(予定) 13:30~15:30 定員 30~40名 参加費 無料 参加者決定方法 先着順 参加申込み受付期間 6月中旬から7月末締め切り 当日の運営スタッフ シモジマ・市民団体</p> <p>2-2-2 市民活動はじめの一步ワークショップ(南山委員) 市民活動スタートアップ応援企画案ver2に基づいて、南山さんから概要が説明された。夏休みワークショップや市民活動フェアなどの行事予定も考慮すると下記のようなスケジュールが妥当ではないかということになった。</p> <p>&lt;スケジュール案&gt;</p> <p>6-7月 フェア実行委員会の議論と並行して新年度市民参加部会で企画の詳細を検討、講師選定</p> <p>8月中 詳細に内容検討</p> <p>9月上旬 広報ふなびし用原稿提出</p> <p>11月中旬 市民活動フェアと共に広報ふなびしで告知、参加者募集</p> <p>12月 市民活動フェア内の企画への参加を第1回とする。</p> <p>内容: "地域でつながる活動の始め方"等の内容が含まれる講演会 想定されている講師(順): 和田義人氏(千葉商科大学人間社会学部教授)</p> <p>1月 WS② ちょっと先行くセンパイの話を聞いてみよう! 内容: 実際に身近な問題意識から市民活動をしている同世代の話を聞く 想定されている講師(順): 船橋ババ会代表 高橋明氏・ワーキングマザーの会</p> <p>2or3月 WS③ めざせ地域活動発表会 →4月から新規登録・活動団体として動き始める団体ができることを目指す。</p> <p>以上</p>															

第7回 全体会の協議内容

<p>2024/1/28市民活動サポートセンター運営協議会 市民参加部会質疑応答議事メモ&amp;要検討課題</p> <p>&lt;質疑応答議事メモ&gt;</p> <p>意見: 地域課題に取り組む市民団体の紹介ポップを作成する企画は良いと考える。 このような企画を市民活動フェア内で実施すると一般市民をより巻き込めるのではないかと。【田久保委員】</p> <p>回答: 次年度は参加体験型のフェアを目指している。 参加体験型のフェアにふさわしいような企画を取り込んでいきたいと考えている。【谷合委員】</p> <p>質問: パネル展示を毎月実施しているが、パネル展示期間が終了したら団体を集め、振り返りを企画していただきたい。【斎藤委員】</p> <p>回答: 団体同士で交流したいという声はアンケートから分かっているため、交流を持つ機会をつくることは必要と感じる。【事務局】</p> <p>意見: 展示パネルを活用し、パネルディスカッションをするのも良いと考える。【廣田委員】</p> <p>回答: 市民参加部会で検討する。</p> <p>今回の募集では出展団体に事前に案内できていないため、参加必須とはできないだろう。【谷合委員】</p> <p>意見: パネル展示はエスカレーターホールで展示できると良い。【谷山委員】</p> <p>回答: エスカレーターホールは予約制のため、予約の空き状況を確認のうえ案内で検討する。【事務局】</p> <p>意見: 総合窓口センターに来た方がセンター内に散歩に来てもらえるような外向きなアプローチが必要ではないか。【森委員】</p> <p>質問: 夏休み親子ワークショップはどのように市民活動に関連付けることを検討しているか。【結崎委員】</p> <p>回答: 資料7部会報告書に記載のとおり、船橋に関する子供新聞づくりや市民活動団体の紹介ポップづくり、活動地域の紹介マップづくり等の市民活動に結びつけた制作系ワークショップを検討している。【谷合委員】</p>
--

前々回検討事項

<p><b>1 報告</b></p> <p>1. ワークショップ企画の進捗状況について 12月の部会以降シモジマ担当者連絡を取り合っていたが、5月のGWでの実施には企画の内容詳細が定まらなかったため、1月の段階で市民協働課として延期を決め、シモジマに連絡した。昨年のワークショップ企画の反省として、"市民活動につながる要素が必要"ということになり、そうした要素を盛り込んで企画の詳細を検討してゆく必要がある。開催時期や内容については、企画案として今期の間に検討し直して6月以降の次期に申し送ることとなった。</p> <p>2. センターイメージチェンジ事業 市民活動パネル展示参加団体募集状況確認 市民団体に対しては、市民協働課から登録団体への一斉配信メールで周知した。企業については高工振興課から2月2日配信されるメールの2/1号で配信している。 企業パネルの展示場所・展示期間について確認 市民活動フェアに出展していただいた企業パネルは1月一杯で展示終了した。また、市民活動フェアに出展していただいた企業とは個別にふりかえりの場を設けてアンケート結果なども報告している。</p> <p>議題2 検討事項</p> <p>2-1 広がったサポートセンターの活用について 市民活動サポートセンター見取り図とFACE5階フロア見取り図を使って、このスペースの活用方法について、市民参加部会のセンターイメージチェンジ事業の中で検討することになった。</p> <p>福沢さんから、現在、市民協働課で検討を始めた案について説明があった。キッズスペースや登録団体の打ち合わせスペース、交流利用スペースなどについて議論した。また、現在のサポートセンターにはないが、会議用のスクリーンやぶろじょくたーの貸し出しや実物展示スペース、小型のテーブルやホワイトボードがあるフリーワークスペースなどがあると利用される可能性があることが議論された。 サポートセンターの利用者数の推移について、部会に開示していただきたいという要望があった。 参考: コピー機、輪転機については更新される予定。受け付けやロッカーについては移動できない。</p> <p>2-2 親子ワークショップ企画について 今回は議題には挙げなかったが、親子ワークショップについて、開催が次期になるとしても、内容や事業は今期で議論しておくことになった。</p> <p>主要検討事項</p> <p>開催時期: 夏休み中がよい 対象者: 小学生(低学年・高学年)とその親 注意: 夏休みボランティア体験の中学生をワークショップのサポートボランティアとして受け入れる 目的: SDGsと関連付けた自由研究の材料になるものが作れるワークショップ テーマや内容 市民活動につながる要素として、制作物に対して後からでも追加できる参加型の制作物をつくるワークショップにすることや、企業と市民団体がコラボレーションしたワークショップという企画も議論された。 こちら側意向と共に、担当していただくシモジマ側がどのようなことができるのかもすり合わせが必要。 資格や詳細は今期に決めておいて、次期に引き継ぐ方が時期の部会にとっても最初に取り組めることができるので、スムーズに入れる。 2-3 市民活動はじめの一步ワークショップ(南山委員) 親子ワークショップ企画と同様、市民活動はじめの一步ワークショップ企画案についても、3月以降に案を検討することとなった。</p>
---